

0 歴史・文化スポット

A 加茂神社 (C-5)
加茂神社は白鳳年間の貞観7(865)年創立で、天武天皇に派遣された三野王(みぬのおう)との関わりが伝わる。社殿裏には樹齢約600年の杉、樹齢約400年のねずこが並び立つ。天明7(1787)年再建の本殿は市指定有形文化財。



B 春日神社 (C-7)
春日神社は白鳳年間に、天武天皇が遷都の地検分のため派遣した三野王(みぬのおう)が来村して創建したと伝わる。寛政2(1790)年再建の本殿は、市指定有形文化財。



C 内裏屋敷跡 (E-2)
だ い り や し き あ と
鬼女紅葉(きじよもみじ)の住まいがあったと伝わる内裏屋敷跡(だいいりやしきあと)。鬼女紅葉供養塔、東屋、案内板が設置されている。付近には、館武士(やかぶし)という、宮殿警護の武備に関係した地名が残る。



D 月夜の陵 (F-2)
つ き よ の は か
天武天皇の遷都の検地使者、皇族某の墳墓説と、鬼女紅葉の腰元、月夜という女性の墓という説の二説あり。



E 月夜の陵 詩碑 (E-2)
詩人 田中冬二(1894年-1980年)は鬼無里を訪れて月夜の陵の伝承を知り詩を作った。詩碑の揮毫(きごう)は、堀辰雄氏夫人の堀多恵子氏。



ビューポイント
フットパスのコース上には、おすすめの景色が望めるビューポイントがあります。

bポイント (C-3)
山の谷間から一夜山が見えるスポット。一夜山に向かってのびる道の先は、高須辺(こうすべ)地区(現在は無住地区)。かつては松代藩に献上したそばの産地であった。



dポイント (D-6)
虚空蔵山頂上の虚空蔵堂からの眺望。けわしい小川で足元に注意して登る。西京集落と遠方には虫倉山が望める。



aポイント (C-5)
東京集落に向かう道路からの眺望。田畑越しに楳花川対岸の西京集落が望める。遠方から春日神社や薬師堂の位置を探してみるのも楽しい。



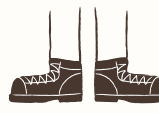
cポイント (C-4)
高台から東京五条の人家や田畑を望む。夏は爽やかな風が吹き上げ、亀の子舗装の細い道を下り歩くのが気持ち良い。



eポイント (C-6)
西京薬師堂から西京集落を望む。国道406号を走る車やバイク、古民家や田畑、周辺の山々を眺めるのが楽しい。



フットパスを楽しむマナー



- ・この素晴らしい風景を維持・管理されている地元の方々への感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。
- ・道から外れ、田畑や民家の敷地などに入らないようにしましょう。
- ・自分のゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ・農作物、動植物などの採取はやめましょう。
- ・地元の方々の作業や生活の邪魔をしないようにしましょう。
- ・ルートから外れた人気の無い山道には、クマが出没する恐れがありますので立ち入らないようにしましょう。



谷の都コース

凡例

- 基本ルート
- 別ルート
- 立寄り

- 駐車場
- バス停
- ビューポイント
- 危険箇所(クマ出沒、崖、行き止まりなど)

歩行距離 ①〜⑬〜① 約4km

この地図は、長野市長の承認を得て、長野市都市計画基本図2,500分の1を使用したものである。(承認番号 29都第377号)

コースガイド

- 国道406号の「東京口(ひがしきょうぐち)」バス停からスタート。山側に向かって登り坂をまっすぐに進む。
- 正面の斜面一帯は桜が植樹されており4月中下旬に見頃となる。右手の登り道は若干のショートカット。途中、未舗装箇所あり。
- 本線は緩やかな坂道。高台から西京(にしきょう)集落を見る眺望良好。山側に登る道は、東京(ひがしきょう)集落に上がる近道。脇には笹、たけのこが見られる。
- 鉄塔の先で分岐。右折し加茂神社の表参道を進む。両側に広がる畑は季節ごとに表情が変わる。分岐点を直進すると⑬加茂川橋方面への近道となる。
- 加茂神社境内入口を右折。境内前の民家の土蔵にある「鬼女」と「貴女」の面の銭絵(こてえ)に注目。
- 左折し登り坂を進む。道路最高地点の正面の民家の屋号は「てっぺい」(てっぺんが語源か)。集落の中を周して⑤地点に戻る。道路途中に鉱泉あり。
- 加茂神社の敷地西側に沿った道を進む。途中、重用保護馬の馬頭観世音あり。
- 民家の前を通過しT字路を右折し道なりに進む。⑤地点手前に一夜山(いちゃさん)と西岳(にしだけ)の眺望スポットあり。
- 道を折り返し緩やかな下り道を道なりに進む。夏は谷から吹き上げる涼風が心地よい。
- 右折し谷沿いの道を進む。民家の庭先を抜けると高台からの眺望スポット。亀の子舗装の下り道を進むと旧「かく北荘」の横に出る。
- 右折し牛平(うしだいら)方面へ進む。保寺沢(ほてらさわ)橋を渡り、左手に楳花川(すそばがわ)を眺めながら直進する。
- 楳花川にかかる牛平橋を渡り車道を左折。左手の楳花川沿いに広がる畑を眺めながら国道406号方面へ歩く。
- 国道406号を右折し、白馬方面へ歩き、天神川(てんじんがわ)にかかる西京橋を渡る。
- 西京橋を渡った先を左折し天神川に沿って進む。
- 神地沢(じんぢざわ)にかかる神地沢橋を渡り、西京集落を歩く。
- 吉田橋を渡った先は国道406号。右折し50m程歩く。
- カーブミラー箇所を左折し、西京集落の中を歩く。民家の石垣が連なる石垣ロード。建ち並ぶ土蔵の様々な蔵印(くらじるし)を見るのも楽しい。
- 国道406号を左折し、楳花川にかかる両京橋を渡り、起点①へ戻る。川が地区境であり、東側が東京、西側が西京
- 加茂川にかかる加茂川橋、十王堂(じゅうおうどう)、筆塚が隣接する交差点。十王堂の横を降りた先には兵役優待会石塔、丸石(まゆ型)の道祖神が見られる。
- 鬼女紅葉(きじよもみじ)の住まいがあったと伝わる内裏屋敷跡(だいいりやしきあと)。尾根の中段には月夜の陵(つきよのはか)。
- 小高い山の頂上は虚空蔵堂(こくそうどう)及び宮嶋神社。西京集落の眺望スポット
- 国道406号沿いの小山の頂上は薬師堂。西京集落の眺望スポット
- 秋葉神社・金比羅神社への入口。道から上方に大岩が見える。急な山道を少し登ると祠がある(崖、獣に注意)。